

## 犬山市の児童生徒の学習習慣、 学習態度に関する調査

相 澤 陽 一  
杉 江 修 治

### 問 題

2001年度から実質的な授業改善に取り組んできた犬山市では、学びの授業の実現をめざし、それぞれの学校現場で実践の工夫を重ねてきた。学びは児童生徒の主体的活動であり、その実現は単なる教科内容の習得の側面にとどまらず、主体的な学習態度の形成にもつながるものと考えられる。

新しい学力の追求が論議され続けながら、それを実現する手法への想像力が乏しかったというのが、これまでの日本の教育改革の課題であった。犬山市の多くの実践では、この主体的な学びを「学び合い」によって実現するというアプローチをとった（犬山市教育委員会 2005, 杉江 2003, 2005）。協同学習の原理の導入である。教師たちはこれまでの教師主導の授業に比べて、児童生徒の望ましい変化に対して手ごたえを報告してきている（仲・杉江 2001, 2002a, 2002b, 2004, 谷口・仲・杉江 2004）。また保護者も総じて好意的な反応を示してきている（仲・杉江 2002c, 西口・杉江 2005, 谷口・仲・杉江 2004）。

ただ、犬山市でのそれらの調査では、児童生徒の学習習慣や学習態度については十分な項目が用意されていなかった。本研究ではこの側面に問題を絞って検討した。

なお、児童生徒から得られた調査結果そのものを経験に照らして評価するという手法も有意義ではあるが、他の調査資料との突合せが可能であれば、犬山市の授業改革の成果としての視点から検討が可能となる。そこで、ここでは国際比較の形で行われた IEA の質問紙調査（国立教育政策研究所 2004）、国内での類似の研究関心による諸調査（ベネッセ教育研究所 2001, 2002, ベネッセ未来教育センター 2003a, 2003b, 2004）などとの比較も試みた。項目の作成に当たっては、それらの研究で用いられたものを多く取り入れた。

## 方 法

**被調査者** 犬山市内の小学校 4, 6 年生の児童, 中学校 2 年生の生徒を対象とした。小学校 4 年生は男子 322 名, 女子 312 名, 合計 634 名, 小学校 6 年生は男子 302 名, 女子 295 名, 合計 597 名, 中学校 2 年生は男子 308 名, 女子 301 名, 合計 607 名。

**対照データ** IEA による 2003 年国際比較データの中から日本のデータを抜きだしたもの, および, ベネッセ教育研究所とベネッセ未来教育センターの下記のデータを比較のために用いた。それぞれの調査の概要を下に示す。

### ○IEA 調査 (2003)

調査実施時期：2003 年, 2 月。

調査対象：層化 2 段階抽出法による日本国内の小学校 4 年生と中学校 2 年生。

サンプル数：小学校 4 年生, 4535 名, 中学校 2 年生, 4856 名。

### ○ベネッセ教育研究所調査 (2001)

調査実施時期：2000 年 11 月。

調査対象：東京都, 神奈川県, 埼玉県, 群馬県の公立中学校 2 年生。

サンプル数：724 名 (男子 404 名, 女子 318 名。)

### ○ベネッセ教育研究所調査 (2002a)

調査実施時期：2001 年 5~6 月。

調査対象：東京都, 千葉県, 神奈川県 of 公立小学生, 4~6 年生。

サンプル数：1851名 (男子913名, 女子936名, 性別不明2名)。

○ベネッセ未来教育センター調査 (2003a)

調査実施時期：2002年11月。

調査対象：東京都, 千葉県, 埼玉県の中学校6校の1~3年生 (学年別内訳不明)。

サンプル数：男子886名, 女子835名, 合計1721名。

○ベネッセ未来教育センター調査 (2003b)

調査実施時期：2002年11月。

調査対象：東京都, 千葉県, 埼玉県の中学生 (学年別内訳不明)。

サンプル数：685名 (男子342名, 女子343名)。

○ベネッセ未来教育センター調査 (2004)

調査実施時期：2003年11~12月。

調査対象：東京都, 千葉県, 埼玉県, 神奈川県の中学生1~3年生 (学年別内訳不明)。

サンプル数：1561名 (男子817名, 女子744名)。

IEA調査と比較して, ベネッセ教育研究所, ベネッセ未来教育センターの調査対象は, 関東, 特に首都圏近辺からのサンプルであるという偏りがある点, また学年が本調査と的確に対応していない点については留意が必要である。

質問紙 小学校用と中学校を用いる。様式については資料1 (小学校用), 資料2 (中学校用) に示す。

実施期間 2005年2月に調査を実施。

## 結果と考察

表1には, 放課後の生活時間を8つの領域に分けて質問した結果を示す。それぞれの活動時間がどれほどであるのが適切なかの判断は難しいが, ここでは外部のデータとの比較で検討したい。比較のために小学校4年生, 中学校2年生についてはIEA調査の日本の結果を付す。

犬山市の児童生徒とIEA調査の結果を比較すると, 総じて類似の結果

表1 放課後の生活時間 (IEA データとの比較)

単位：時間

|    |         | 宿題を<br>する | TVや<br>VTR<br>を見る | コンピ<br>ュータ<br>ゲーム | 友だち<br>と遊び<br>話す | 家の仕<br>事・手<br>伝い | スポー<br>ツ | 楽しみ<br>の読書 | インタ<br>ーネッ<br>ト |
|----|---------|-----------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|----------|------------|-----------------|
| 小4 | 犬 山     | 0.96      | 2.13              | 1.01              | 1.52             | 0.73             | 1.26     | 0.82       | 0.41            |
|    | 日本(IEA) | 0.9       | 2.0               | 0.9               | 1.9              | 0.8              | 1.3      | 0.8        | 0.4             |
| 小6 | 犬 山     | 1.03      | 2.40              | 0.88              | 1.57             | 0.69             | 0.87     | 0.97       | 0.61            |
| 中2 | 犬 山     | 1.22      | 2.52              | 0.76              | 1.19             | 0.50             | 0.82     | 0.77       | 0.76            |
|    | 日本(IEA) | 1.0       | 2.7               | 0.9               | 1.6              | 0.6              | 1.3      | 0.9        | 0.6             |

\* 回答は「しない」「1時間より少ない」「1時間以上2時間より少ない」「2時間以上4時間より少ない」「4時間以上」の5件法で求めた。集計は、それぞれ0, 0.5, 1.5, 3, 4.5時間と換算して行った。これはIEA調査と同じ手続きである。

が見られるが、「友だちと遊び話す」では小学校4年生、中学校2年生ともに、「スポーツ」では中学校2年生で、犬山市の子どもの方が時間がやや短い傾向が見られる。放課後の活性度については犬山市の児童生徒が特に高いわけではないというようすをうかがうことができる結果であった。

表2から表9までは、表1の結果に性別の情報を加え、領域毎にまとめ

表2 学校のある日に、家に帰ってから1日に、宿題をどれくらいしますか (%)

|      | しない | 1時間より<br>少ない | 1時間以上,<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上,<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|------|-----|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男 | 4.7 | 64.6         | 22.7                   | 5.6                    | 1.6   | 0.9 |
|      | 0.6 | 61.5         | 30.8                   | 5.4                    | 1.6   | 0.0 |
|      | 合計  | 2.7          | 63.1                   | 26.7                   | 5.5   | 1.6 |
| 小6 男 | 7.3 | 53.0         | 34.8                   | 4.0                    | 0.3   | 0.3 |
|      | 4.4 | 45.1         | 42.0                   | 7.1                    | 1.4   | 0.0 |
|      | 合計  | 5.9          | 49.1                   | 38.4                   | 5.5   | 0.8 |
| 中2 男 | 7.8 | 42.2         | 41.2                   | 7.8                    | 1.0   | 0.0 |
|      | 3.6 | 35.2         | 46.5                   | 13.3                   | 1.0   | 0.3 |
|      | 合計  | 5.7          | 38.8                   | 43.8                   | 10.5  | 1.0 |

表3 学校のある日に, 家に帰ってから1日に,  
テレビやビデオをどれくらい見ますか

(%)

|           | 見ない  | 1時間より<br>少ない | 1時間以上,<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上,<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|-----------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男      | 5.6  | 17.7         | 28.6                   | 33.5                   | 13.7  | 0.9 |
| 女         | 2.5  | 23.1         | 28.8                   | 32.1                   | 13.1  | 0.3 |
| 合計        | 4.1  | 20.3         | 28.7                   | 32.8                   | 13.4  | 0.6 |
| ベネッセ2002  | 56.4 |              | 23.3                   | 20.3                   |       | —   |
| 小6 男      | 3.3  | 14.2         | 27.5                   | 41.7                   | 13.2  | 0.0 |
| 女         | 1.7  | 13.6         | 25.4                   | 43.1                   | 16.3  | 0.0 |
| 合計        | 2.5  | 13.9         | 26.5                   | 42.4                   | 14.7  | 0.0 |
| ベネッセ2002  | 42.9 |              | 26.6                   | 30.5                   |       | —   |
| 中2 男      | 2.3  | 9.1          | 28.2                   | 44.8                   | 14.6  | 1.0 |
| 女         | 1.3  | 11.0         | 27.2                   | 43.9                   | 16.3  | 0.3 |
| 合計        | 1.8  | 10.0         | 27.8                   | 44.3                   | 15.4  | 6.6 |
| ベネッセ2003a | 8.3  | 10.3         | 26.2                   | 55.3                   |       | —   |

たものである。対照データのある項目は表中にあわせて示した。

表2では, 家に帰ってから宿題をする時間は, 小学生は1時間以内の者が多く, 中学生は1時間以上, 2時間より少ないという者が多い結果であった。学年をおって勉強時間は長くなる傾向がある。また男子に比べて女子の方がいずれの学年でも学習時間が長い傾向も見られた。

表3は, 家に帰ってからのテレビ視聴時間をたずねた結果である。

男女差はそれほど顕著ではない。ただ, 学年をおって視聴時間が長くなる傾向がある。また, ベネッセ教育研究所(2002), ベネッセ未来教育センター(2003a)と比べると, 犬山市内の児童生徒は, すべての学年で明らかに視聴時間が長い。

表4では, 家に帰ってからコンピュータゲームに費やす時間をたずねた結果を示した。比較するデータはない。

全体の傾向として, 小学生に比べて中学生の方が遊ぶ時間は短くなっている。とりわけ女子の遊ぶ割合の低下傾向が著しい。

表4 学校のある日に、家に帰ってから1日に、  
コンピュータゲームでどれくらい遊びますか (%)

|      | 遊ばない | 1時間より<br>少ない | 1時間以上、<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上、<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男 | 25.2 | 26.4         | 23.6                   | 18.9                   | 5.3   | 0.6 |
| 女    | 34.9 | 40.4         | 17.6                   | 3.8                    | 2.9   | 0.3 |
| 合計   | 30.0 | 33.3         | 20.7                   | 11.5                   | 4.1   | 0.5 |
| 小6 男 | 18.9 | 31.1         | 28.5                   | 17.5                   | 4.0   | 0.0 |
| 女    | 55.9 | 27.8         | 11.2                   | 5.1                    | 0.0   | 0.0 |
| 合計   | 37.2 | 29.5         | 19.9                   | 11.4                   | 2.0   | 0.0 |
| 中2 男 | 26.0 | 33.1         | 23.4                   | 13.0                   | 3.9   | 0.6 |
| 女    | 70.1 | 14.6         | 8.9                    | 4.3                    | 1.7   | 0.3 |
| 合計   | 47.8 | 24.0         | 16.3                   | 8.7                    | 2.8   | 0.5 |

表5 学校のある日に、家に帰ってから1日に、  
どれくらい友だちと学校の外で、遊んだりおしゃべりしたりしますか (%)

|           | しない  | 1時間より<br>少ない | 1時間以上、<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上、<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|-----------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男      | 13.0 | 26.1         | 31.7                   | 24.2                   | 4.3   | 0.6 |
| 女         | 15.4 | 23.7         | 34.6                   | 19.6                   | 6.1   | 0.6 |
| 合計        | 14.2 | 24.9         | 33.1                   | 21.9                   | 5.2   | 0.6 |
| ベネッセ2002  | 61.4 |              | 16.1                   | 22.5                   |       | —   |
| 小6 男      | 9.9  | 20.2         | 35.1                   | 30.1                   | 4.6   | 0.0 |
| 女         | 18.6 | 24.4         | 31.5                   | 21.7                   | 3.4   | 0.3 |
| 合計        | 14.2 | 22.2         | 33.3                   | 26.0                   | 4.0   | 0.2 |
| ベネッセ2002  | 70.5 |              | 11.0                   | 18.5                   |       | —   |
| 中2 男      | 26.9 | 34.4         | 17.5                   | 11.7                   | 9.1   | —   |
| 女         | 32.9 | 34.6         | 9.3                    | 12.3                   | 11.0  | —   |
| 合計        | 29.9 | 34.5         | 13.5                   | 12.0                   | 10.0  | —   |
| ベネッセ2003a | 79.8 | 3.9          | 3.3                    | 13.0                   |       | —   |

表5では、家に帰ってから友だちと遊ぶ時間をたずねた結果を示す。同時にベネッセ教育研究所(2002)、ベネッセ未来教育研究所(2003a)の

表6 学校のある日に, 家に帰ってから1日に,  
家の仕事(手伝い)をどれくらいしますか

(%)

|          | しない  | 1時間より<br>少ない | 1時間以上,<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上,<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|----------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男     | 22.0 | 61.5         | 12.4                   | 3.1                    | 0.6   | 0.3 |
| 女        | 14.4 | 58.3         | 18.3                   | 7.7                    | 1.3   | 0.0 |
| 合計       | 18.3 | 59.9         | 15.3                   | 5.4                    | 0.9   | 0.2 |
| 小6 男     | 22.2 | 62.9         | 10.9                   | 3.3                    | 0.7   | 0.0 |
| 女        | 11.5 | 65.4         | 17.6                   | 3.4                    | 1.7   | 0.0 |
| 合計       | 16.9 | 64.1         | 14.2                   | 3.4                    | 1.2   | 0.0 |
| 中2 男     | 38.0 | 52.9         | 8.1                    | 1.0                    | 0.0   | 0.0 |
| 女        | 28.9 | 52.5         | 15.9                   | 2.3                    | 0.3   | 0.0 |
| 合計       | 33.5 | 52.7         | 12.0                   | 1.6                    | 0.2   | 0.0 |
| ベネッセ2001 | 59.0 | 33.7         | 7.3                    |                        |       | —   |

結果も付した。

ここでは, IEA 調査の結果とは異なり, 犬山市の児童生徒は授業後の友だちとの交流時間が長いという結果が見られる。交流がないという回答などは明らかに少ない。ベネッセ調査の被調査者の偏りが, この項目では顕著に出ている印象である。

表6には, 家での手伝いの時間をたずねた結果を示した。

手伝いを「しない」という回答は, 小学生では10%台であるが, 中学生になるとその割合が30%を越える。また, 小学生, 中学生ともに, 男子より女子の方が時間が長い傾向が見られる。ただ, ベネッセ教育研究所(2001)のデータとの比較では, 犬山市の児童生徒の手伝い時間は短いとはいえない。

表7は, 帰宅後にスポーツで費やす時間をたずねた結果を示したものである。

小学生は, 4年生と6年生は比較的類似の結果を示した。中学生はスポーツをするという者の割合が少ない。主な理由は学校で部活などすでに行い, 帰宅時間も遅いことがあげられよう。また, 男女差では, いずれの学年も

表7 学校のある日に、家に帰ってから1日に、  
どれくらいスポーツをして遊びますか (%)

|      | 遊ばない | 1時間より<br>少ない | 1時間以上,<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上,<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男 | 18.9 | 29.5         | 21.7                   | 19.9                   | 9.3   | 0.6 |
| 女    | 27.2 | 36.9         | 21.1                   | 10.6                   | 4.2   | 0.0 |
| 合計   | 23.0 | 33.1         | 21.5                   | 15.3                   | 6.8   | 0.3 |
| 小6 男 | 13.6 | 26.2         | 31.4                   | 23.2                   | 4.6   | 1.0 |
| 女    | 30.8 | 36.3         | 18.6                   | 10.5                   | 3.7   | 0.0 |
| 合計   | 22.1 | 31.2         | 25.1                   | 16.9                   | 4.2   | 0.5 |
| 中2 男 | 32.5 | 28.9         | 19.5                   | 13.3                   | 5.8   | 0.0 |
| 女    | 60.8 | 20.9         | 9.0                    | 8.6                    | 0.6   | 0.0 |
| 合計   | 46.5 | 25.0         | 14.3                   | 11.0                   | 3.3   | 0.0 |

男子の方が多い傾向の回答を示した。

表8は、帰宅後、読書に費やす時間をたずねた結果である。

小学生は2年生と4年生が類似の結果を示したが、中学生は小学生と比

表8 学校のある日に、家に帰ってから1日に、  
どれくらい自分の好きな本を読みますか (%)

|          | 読まない | 1時間より<br>少ない | 1時間以上,<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上,<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|----------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男     | 25.8 | 37.9         | 25.8                   | 7.8                    | 2.2   | 0.6 |
| 女        | 18.3 | 43.6         | 25.3                   | 9.6                    | 2.2   | 1.0 |
| 合計       | 22.1 | 40.7         | 25.6                   | 8.7                    | 2.2   | 0.8 |
| 小6 男     | 24.5 | 41.7         | 23.8                   | 7.9                    | 1.7   | 0.3 |
| 女        | 21.7 | 41.7         | 22.3                   | 9.5                    | 4.7   | 0.0 |
| 合計       | 23.1 | 41.7         | 23.1                   | 8.9                    | 3.2   | 0.2 |
| 中2 男     | 36.4 | 38.3         | 16.6                   | 7.8                    | 1.0   | 0.0 |
| 女        | 36.9 | 34.6         | 18.6                   | 6.0                    | 4.0   | 0.0 |
| 合計       | 36.6 | 36.4         | 17.6                   | 6.9                    | 2.5   | 0.0 |
| ベネッセ2001 | 66.3 | 17.0         | 12.6                   | 4.1                    |       | —   |



表9 学校のある日に、家に帰ってから1日に、  
インターネットをどれくらい使いますか

（%）

|      | 使わない | 1時間より<br>少ない | 1時間以上、<br>2時間より<br>少ない | 2時間以上、<br>4時間より<br>少ない | 4時間以上 | 無 答 |
|------|------|--------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| 小4 男 | 55.3 | 30.4         | 9.9                    | 3.7                    | 0.3   | 0.3 |
| 女    | 60.3 | 26.6         | 9.6                    | 2.6                    | 0.6   | 0.3 |
| 合計   | 57.7 | 28.5         | 9.8                    | 3.2                    | 0.5   | 0.3 |
| 小6 男 | 46.0 | 31.1         | 14.9                   | 4.3                    | 2.6   | 1.0 |
| 女    | 45.4 | 35.3         | 13.2                   | 4.7                    | 1.4   | 0.0 |
| 合計   | 45.7 | 33.2         | 14.1                   | 4.5                    | 2.0   | 0.5 |
| 中2 男 | 35.4 | 35.7         | 18.2                   | 5.5                    | 4.5   | 0.6 |
| 女    | 48.5 | 28.6         | 13.3                   | 5.6                    | 3.7   | 0.3 |
| 合計   | 25.5 | 32.2         | 15.8                   | 5.6                    | 4.1   | 0.5 |

べて読書時間が短い傾向が見られる。性差は、小学校4年生で女子が長い傾向が見られるが、小学校6年生、中学校2年生では差はなかった。また2時間以上読書に時間を費やすの者が10%程度はいることも示された。

なお、中学校2年生について、ベネッセ教育研究所（2001）のデータとの比較では、犬山市の児童生徒の方が明らかに読書に費やす時間が長い傾向を見ることができた。

表9は、帰宅後にどれほどの時間インターネットを使うかをたずねた結果である。

全体に学年をおって時間は長くなる傾向が見られる。小学校6年生の段階で「使わない」とする者が半数以下になる。性差は小学校ではそれほど顕著ではないが、中学校2年生になると、明らかに男子の方が時間が長くなる傾向が見られる。また中学生では2時間以上という回答が10%程度に達している。

表10では、小学生は8教科、中学生では9教科について、それぞれの楽しさを4段階の評定でたずねた結果を示した。2.5が中間値である。

犬山市では、非常勤講師の多数採用により、算数・数学、理科、英語で少人数授業またはティーム・ティーチング（TT）を多く導入しており、

表10 各教科の楽しさについての評定

(%)

|      | 国語   | 社会   | 算数<br>数学 | 理科   | 音楽   | 図工<br>美術 | 体育<br>保体 | 家庭<br>技家 | 英語   |
|------|------|------|----------|------|------|----------|----------|----------|------|
| 小4 男 | 2.64 | 2.76 | 3.24     | 3.41 | 2.69 | 3.43     | 3.58     | —        | —    |
| 女    | 2.90 | 2.48 | 3.02     | 3.25 | 3.25 | 3.59     | 3.31     | —        | —    |
| 合計   | 2.76 | 2.62 | 3.13     | 3.33 | 2.97 | 3.51     | 3.45     | —        | —    |
| 小6 男 | 2.42 | 2.77 | 2.88     | 3.20 | 2.42 | 3.40     | 3.50     | 2.68     | —    |
| 女    | 2.67 | 2.70 | 2.59     | 2.91 | 3.04 | 3.40     | 3.11     | 3.14     | —    |
| 合計   | 2.54 | 2.73 | 2.74     | 3.06 | 2.73 | 3.40     | 3.31     | 2.91     | —    |
| 中2 男 | 2.27 | 2.83 | 2.67     | 2.73 | 2.50 | 2.44     | 2.74     | 2.93     | 2.49 |
| 女    | 2.52 | 2.53 | 2.32     | 2.39 | 2.70 | 3.08     | 2.98     | 2.71     | 2.43 |
| 合計   | 2.40 | 2.69 | 2.51     | 2.57 | 2.61 | 2.76     | 2.86     | 2.83     | 2.47 |

\*「強くそう思う」：4点, 「そう思う」：3点, 「そう思わない」：2点, 「まったくそう思わない」1点, として算出

対費用効果の意味で, それらの教科での楽しさの増大が期待される。ただ, すでに2001年度より授業改善の試みが継続しており, 上記以外の教科についての授業改善への意欲も多くの学校で見られてきているため, 差を見出すことは難しい可能性もある。

小学校では, 図工, 体育といった実技教科で楽しいとする者の割合が高い。いずれも評価は3.00を上回っている。また, 少人数授業, TTを実施している算数, 理科では, 小学校4年生で両科目ともに評価は3.00より高く, 小学校6年生では理科で評価が3.00を上回っていた。小学校6年生の算数は2.73と3.00以下の値であり, 国語よりは楽しいとする者の割合が高かったが, 社会, 音楽などとほぼ同じ評価であった。特に女子は2.59と, すでに苦手意識ができてつつある性差の気配がうかがえる。

中学校では美術, 保健体育, 技術家庭科などの実技教科への評価が高い。数学, 理科, 英語は他の教科と比べてより楽しいという結果は見られない。また, 英語を除いて, それぞれに性差をうかがうことができる結果であった。

表11では, IEA日本データとの比較をするために算数(数学)を楽し

表 11 算数 (数学) の勉強は楽しいと思っっていますか (%)

|         | 強くそう思う | そう思う | そう思わない | まったくそ<br>う思わない | 無 答 |
|---------|--------|------|--------|----------------|-----|
| 小4 男    | 43.5   | 40.1 | 11.8   | 3.7            | 0.9 |
| 女       | 32.7   | 43.9 | 16.3   | 7.1            | 0.0 |
| 合計      | 38.2   | 42.0 | 14.0   | 5.4            | 0.5 |
| 日本(IEA) | 29     | 36   | 35     |                | —   |
| 中2 男    | 16.9   | 42.2 | 31.1   | 9.1            | 0.6 |
| 女       | 9.3    | 29.2 | 44.2   | 15.9           | 1.3 |
| 合計      | 13.1   | 35.8 | 37.6   | 12.5           | 1.0 |
| 日本(IEA) | 9      | 30   | 61     |                | —   |

いと思うかという質問に対する小学校4年生, 中学校2年生の答を回答者の割合で示した。

これを見ると, 犬山市の児童生徒は, 日本の平均と比べて算数, 数学を楽しんでいる者の割合が明らかに多い傾向があることが分かる。

表 12 では, IEA 日本データとの比較をするために理科を楽しいと思うかという質問に対する小学校4年生, 中学校2年生の答を回答者の割合で示した。

これを見ると, 犬山市の小学校4年生児童は日本の平均と比べて理科を

表 12 理科の勉強は楽しいと思っっていますか (%)

|         | 強くそう思う | そう思う | そう思わない | まったくそ<br>う思わない | 無 答 |
|---------|--------|------|--------|----------------|-----|
| 小4 男    | 55.3   | 33.2 | 7.8    | 3.4            | 0.3 |
| 女       | 40.4   | 45.5 | 12.2   | 1.6            | 0.3 |
| 合計      | 47.9   | 39.3 | 9.9    | 2.5            | 0.3 |
| 日本(IEA) | 45     | 36   | 19     |                | —   |
| 中2 男    | 21.1   | 41.9 | 25.3   | 11.3           | 0.3 |
| 女       | 9.0    | 34.2 | 42.5   | 13.3           | 1.0 |
| 合計      | 15.1   | 38.1 | 33.8   | 12.3           | 0.7 |
| 日本(IEA) | 19     | 40   | 41     |                | —   |

表13 好きな教科の順位得点

|      | 国語   | 社会   | 算数<br>数学 | 理科   | 音楽   | 図工<br>美術 | 体育<br>保体 | 家庭<br>技家 | 英語   |
|------|------|------|----------|------|------|----------|----------|----------|------|
| 小4 男 | 0.23 | 0.34 | 1.03     | 1.02 | 0.27 | 1.26     | 1.73     | —        | —    |
| 女    | 0.44 | 0.16 | 0.75     | 0.55 | 0.71 | 1.63     | 1.38     | —        | —    |
| 合計   | 0.33 | 0.25 | 0.89     | 0.79 | 0.49 | 1.44     | 1.56     | —        | —    |
| 小6 男 | 0.17 | 0.59 | 0.89     | 1.00 | 0.18 | 0.86     | 1.97     | 0.15     | —    |
| 女    | 0.33 | 0.54 | 0.49     | 0.46 | 0.94 | 1.09     | 1.19     | 0.81     | —    |
| 合計   | 0.25 | 0.57 | 0.70     | 0.73 | 0.55 | 0.97     | 1.59     | 0.48     | —    |
| 中2 男 | 0.24 | 1.06 | 0.55     | 0.84 | 0.22 | 0.51     | 1.19     | 0.26     | 0.67 |
| 女    | 0.45 | 0.47 | 0.34     | 0.29 | 1.37 | 0.89     | 0.89     | 0.27     | 0.85 |
| 合計   | 0.34 | 0.77 | 0.45     | 0.57 | 0.79 | 0.70     | 1.05     | 0.27     | 0.76 |

\*1位に3点, 2位に2点, 3位に1点を与えて集計したものを回答者数で割った値である。

楽しいと感じている者の割合がやや多い傾向があることが分かる。しかし、中学校2年生では楽しいと思う者の割合がやや低いという結果であった。

表13には、好きな教科の順位づけをまとめた結果を示した。数値が高いほど順位が高い。

ここでは、表10の楽しさについての質問と類似した結果が見られた。小学校4年生では図工、体育の順位が高いが、算数、理科もそれに次ぐ順位であった。小学校6年生ではやはり体育、図工の順位が高いが、理科、算数はそれに次いだ。中学校2年生でも技能教科の順位が高いが、次いで社会、その次に英語があげられた。理科はそれに次いだ。数学の順位はむしろ低いという結果であった。ただ、多くの教科で性差が強く現われており、犬山市の授業の課題といえそうである。

表14では、中学校2年生に限って質問した項目である授業の受け方についての結果を、ベネッセ未来教育センター(2004)のデータと比較して示した。

「大事なところに蛍光ペンなどでマークをつける」という質問には、「よくする」「ときどきする」を加えると、ベネッセ未来教育センターのデータよりその割合が多い。ただし、「よくする」への回答の割合はやや少な

表 14 授業の受け方（中学校2年生）

（％）

|                                     |          | よくする | ときどき<br>する | しない  | 無 答 |
|-------------------------------------|----------|------|------------|------|-----|
| 大事なところに蛍光<br>ペンなどでマークを<br>つける       | 男        | 36.0 | 51.6       | 12.0 | 0.3 |
|                                     | 女        | 55.1 | 41.2       | 3.0  | 0.6 |
|                                     | 合計       | 45.5 | 46.5       | 7.6  | 0.5 |
|                                     | ベネッセ2004 | 54.7 | 30.7       | 14.6 | —   |
| 先生の話をよく聞く                           | 男        | 39.3 | 55.2       | 5.2  | 0.3 |
|                                     | 女        | 46.5 | 48.8       | 3.0  | 1.7 |
|                                     | 合計       | 42.9 | 52.1       | 4.1  | 1.0 |
|                                     | ベネッセ2004 | 36.3 | 45.3       | 18.4 | —   |
| どこがテストに出そ<br>うか、注意して聞く              | 男        | 25.6 | 54.5       | 19.1 | 0.6 |
|                                     | 女        | 35.9 | 51.8       | 11.6 | 0.6 |
|                                     | 合計       | 30.7 | 53.2       | 15.4 | 0.6 |
|                                     | ベネッセ2004 | 31.5 | 38.5       | 30.0 | —   |
| プリントや資料はファ<br>イルに整理しておく             | 男        | 26.3 | 49.0       | 24.6 | 0.0 |
|                                     | 女        | 47.2 | 43.2       | 9.0  | 0.6 |
|                                     | 合計       | 36.6 | 46.1       | 16.9 | 0.3 |
|                                     | ベネッセ2004 | 35.1 | 31.7       | 33.2 | —   |
| 黒板に書かれたこと<br>だけでなく、先生の<br>説明もノートにとる | 男        | 6.5  | 52.3       | 40.6 | 0.6 |
|                                     | 女        | 15.6 | 63.1       | 20.6 | 0.6 |
|                                     | 合計       | 11.0 | 57.6       | 30.1 | 0.6 |
|                                     | ベネッセ2004 | 12.8 | 43.1       | 44.1 | —   |
| グループ学習では、<br>進行役やまとめ役を<br>やる        | 男        | 7.8  | 34.7       | 57.1 | 0.3 |
|                                     | 女        | 12.6 | 39.9       | 47.2 | 0.3 |
|                                     | 合計       | 10.2 | 37.3       | 52.2 | 0.3 |
|                                     | ベネッセ2004 | 9.9  | 26.9       | 63.2 | —   |

い。「先生の話をよく聞く」への回答は、ベネッセ未来教育センターのデータより明らかに積極的な方向の回答を見ることができる。「どこがテストに出そうか、注意して聞く」では、「ときどきする」という回答がベネッセ未来教育センターのデータより多く、学習のポイントに注意するようすを多く見ることができる。「プリントや資料はファイルに整理しておく」

では、犬山市の生徒の方がそれをする傾向が強い。授業におけるワークシートや振り返りカードなどの多用が、そういった学習習慣の形成と関わっている可能性がある。「黒板に書かれたことだけでなく、先生の説明もノートにとる」では、犬山市の方がそういう活動をする傾向が強い結果であった。「グループ学習では、進行役やまとめ役をやる」でも、犬山市の生徒の方がそのような行動をとる傾向が強い結果であった。

表15では、家での勉強方法について質問した結果を示した。とくに中学校2年生に限っては、ベネッセ未来教育センター(2004)のデータとあわせて示した。

「授業の予習・復習をしている」では、小学校4年生、6年生、中学校2年生ともによく似た結果であった。「しない」という回答は20%前後と少数派であった。また、全般に女子の方がそうする傾向が強い。ベネッセ未来教育センターのデータとの比較では、犬山市の生徒は明らかにこういう行動をする傾向が強いという結果であった。家で「漢字や計算問題をしている」児童生徒は、小学生では多数がしていると答えたのに対して、中学校2年生はその割合が下がる。しかし、ベネッセ未来教育センターのデータとの比較では、はるかに多くの者がそれをしているという結果であった。「勉強したところを家の人に見てもらおう」という項目への回答は、学年差が3段階で歴然と見られた。「しない」への回答は、小学校4年生では3割程度であったものが、小学校6年生では6割に、中学校2年生では8割に上昇する。ただ、ベネッセ未来教育センターのデータとの比較では、犬山市の中学校2年生は、そういう行動をする傾向がやや高いという結果であった。

表16は、調査前日の家での学習時間をたずねた結果である。

ここでは、明らかに学年が進むにしたがって時間が長くなるようすを見ることができる。小学校4年生では30分程度のところに山があり、小学校6年生ではそれが30分から1時間のところに移り、中学校2年生では2時間以上に6割以上が回答をしているのである。またいずれの学年も、女子の方が時間が長い傾向を見ることができる。

小学校4年生は、ベネッセ教育研究所(2002)のデータを比較のために

表 15 家での勉強方法

(%)

|                       |          | よくする | ときどきする | しない  | 無 答 |
|-----------------------|----------|------|--------|------|-----|
| 授業の予習・復習を<br>している     | 小4 男     | 15.2 | 58.7   | 25.5 | 0.6 |
|                       | 女        | 18.6 | 64.8   | 16.7 | 0.0 |
|                       | 合計       | 16.9 | 61.7   | 21.1 | 0.3 |
|                       | 小6 男     | 10.3 | 60.3   | 27.8 | 1.7 |
|                       | 女        | 16.6 | 71.2   | 11.9 | 0.3 |
|                       | 合計       | 13.4 | 65.7   | 19.9 | 1.0 |
|                       | 中2 男     | 18.8 | 57.5   | 23.1 | 0.6 |
|                       | 女        | 20.9 | 62.8   | 15.3 | 1.0 |
|                       | 合計       | 19.9 | 60.1   | 18.3 | 0.8 |
|                       | ベネッセ2004 | 2.5  | 11.3   | 86.2 | —   |
| 漢字や計算問題をし<br>ている      | 小4 男     | 33.5 | 51.9   | 13.7 | 0.9 |
|                       | 女        | 33.0 | 53.8   | 13.1 | 0.0 |
|                       | 合計       | 33.3 | 52.8   | 13.4 | 0.4 |
|                       | 小6 男     | 26.4 | 47.7   | 24.1 | 1.7 |
|                       | 女        | 32.5 | 55.3   | 11.9 | 0.3 |
|                       | 合計       | 29.5 | 51.4   | 18.1 | 1.0 |
|                       | 中2 男     | 10.1 | 54.8   | 35.1 | 0.0 |
|                       | 女        | 10.3 | 58.1   | 30.9 | 0.6 |
|                       | 合計       | 10.2 | 56.5   | 33.0 | 0.3 |
|                       | ベネッセ2004 | 3.3  | 8.0    | 88.7 | —   |
| 勉強したところを家<br>の人にみてもらう | 小4 男     | 22.0 | 42.9   | 35.1 | 0.0 |
|                       | 女        | 22.8 | 48.1   | 29.2 | 0.0 |
|                       | 合計       | 22.4 | 45.4   | 32.2 | 0.0 |
|                       | 小6 男     | 7.6  | 31.1   | 60.3 | 1.0 |
|                       | 女        | 4.4  | 31.5   | 63.7 | 0.3 |
|                       | 合計       | 6.0  | 31.3   | 62.0 | 0.7 |
|                       | 中2 男     | 2.3  | 12.6   | 81.8 | 3.2 |
|                       | 女        | 4.0  | 16.6   | 78.1 | 1.3 |
|                       | 合計       | 3.1  | 14.6   | 80.0 | 2.3 |
|                       | ベネッセ2004 | 3.5  | 8.0    | 88.5 | —   |

表16 帰宅後の勉強時間（調査前日について）

（%）

|           | まったく<br>しなかつ<br>た | 30分く<br>らいした | 1時間く<br>らいした | 2時間く<br>らいした | 3時間く<br>らいした | 4時間以<br>上した | 無答  |
|-----------|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----|
| 小4 男      | 16.5              | 53.1         | 18.9         | 5.9          | 3.7          | 1.9         | 0.0 |
| 小4 女      | 9.3               | 43.6         | 31.7         | 8.0          | 3.5          | 1.9         | 1.9 |
| 小4 合計     | 12.9              | 48.4         | 25.2         | 6.9          | 3.6          | 1.9         | 0.9 |
| ベネッセ2002  | 85.4              |              | 10.8         | 3.8          |              |             | —   |
| 小6 男      | 20.9              | 34.8         | 30.8         | 7.6          | 3.3          | 2.0         | 0.7 |
| 小6 女      | 6.1               | 36.3         | 36.9         | 12.5         | 5.8          | 1.0         | 1.4 |
| 小6 合計     | 13.6              | 35.5         | 33.8         | 10.1         | 4.5          | 1.5         | 1.0 |
| ベネッセ2002  | 83.5              |              | 10.3         | 6.2          |              |             | —   |
| 中2 男      | 11.7              | 11.7         | 16.6         | 19.8         | 21.4         | 18.8        | 0.0 |
| 中2 女      | 6.3               | 7.3          | 15.6         | 22.2         | 25.6         | 22.6        | 0.3 |
| 中2 合計     | 8.8               | 9.5          | 16.1         | 21.0         | 23.5         | 20.7        | 0.2 |
| ベネッセ2001  | 39.9              | 9.7          | 18.7         | 21.5         |              | 9.8         | —   |
| ベネッセ2003a | 54.1              | 19.1         | 19.0         | 7.8          |              |             | —   |
| ベネッセ2004  | 39.8              | 17.6         |              | 21.2         | 21.4         |             | —   |

示した。1時間以上への回答は犬山市の児童の方が多く傾向を見ることができる。小学校6年生も同じベネッセ教育研究所（2002）のデータを載せた。小学校4年生と同様に犬山市の児童の方が時間が長い傾向があるが、その差は小学校4年生より顕著であった。中学校2年生については、ベネッセ教育研究所（2001）とベネッセ未来教育センター（2003a, 2004）の3つのデータを比較のために示した。犬山市の生徒はベネッセの3データのいずれと比較しても学習時間が長いという結果であった。「全くしなかった」への回答は明らかに少ないという結果であった。

表17では、中学校2年生の勉強についての考え方をベネッセ未来教育センター（2004）のデータと比較する形でまとめた。

「授業では勉強のやり方をもっと教えるべきだ」という、学習方法の学習の必要性、「勉強する子としない子の差が広がるのは仕方ない」という、



努力の違いによる格差生起の許容, 「塾に通うことは必要だ」という, 通塾の必要性の認識, 「学力を上げるため, 学校できびしく指導してほしい」という, 学力向上を志向した期待, 「今勉強している内容のレベルを上げてほしい」という, 意欲を含んだ学習内容への希望など, それぞれ犬山市とベネッセ未来教育センターのデータとでは大きな違いを見出すことはできなかった。ただ, 各項目一貫して, 犬山市のデータの方が「賛成」の方向に若干偏る傾向を見ることができる。

表 17 勉強についての考え方 (中学校 2 年生)

(%)

|                              |          | 賛成   | やや賛成 | どちらとも言えない | やや反対 | 反対   | 無答  |
|------------------------------|----------|------|------|-----------|------|------|-----|
| 大事なところに蛍光ペンなどでマークをつける        | 男        | 25.3 | 29.9 | 39.0      | 2.6  | 3.9  | 0.3 |
|                              | 女        | 28.2 | 35.5 | 31.9      | 1.7  | 2.3  | 0.3 |
|                              | 合計       | 26.8 | 32.7 | 35.5      | 2.1  | 3.1  | 0.3 |
|                              | ベネッセ2004 | 28.8 | 31.6 | 30.8      | 5.1  | 3.6  | —   |
| 先生の話をよく聞く                    | 男        | 31.8 | 21.8 | 32.5      | 5.8  | 8.1  | 0.0 |
|                              | 女        | 23.6 | 28.2 | 33.9      | 5.6  | 8.3  | 0.3 |
|                              | 合計       | 27.8 | 25.0 | 33.2      | 5.7  | 8.2  | 0.2 |
|                              | ベネッセ2004 | 25.9 | 22.9 | 29.9      | 11.1 | 10.2 | —   |
| どこがテストに出そうか, 注意して聞く          | 男        | 10.1 | 22.1 | 49.7      | 6.8  | 11.4 | 0.0 |
|                              | 女        | 8.6  | 20.3 | 53.2      | 10.6 | 7.0  | 0.3 |
|                              | 合計       | 9.4  | 21.2 | 52.4      | 8.7  | 9.2  | 0.2 |
|                              | ベネッセ2004 | 10.8 | 18.7 | 42.9      | 11.8 | 15.8 | —   |
| プリントや資料はファイルに整理しておく          | 男        | 5.8  | 12.3 | 45.5      | 17.2 | 17.9 | 1.3 |
|                              | 女        | 5.3  | 11.0 | 46.8      | 25.6 | 10.6 | 0.6 |
|                              | 合計       | 5.6  | 11.7 | 46.1      | 21.3 | 14.3 | 1.0 |
|                              | ベネッセ2004 | 7.6  | 15.6 | 38.5      | 17.5 | 20.9 | —   |
| 黒板に書かれたことだけでなく, 先生の説明もノートにとる | 男        | 6.8  | 16.9 | 42.9      | 16.6 | 16.2 | 0.6 |
|                              | 女        | 4.7  | 10.0 | 43.5      | 25.9 | 14.9 | 1.0 |
|                              | 合計       | 5.7  | 13.5 | 43.2      | 21.2 | 15.6 | 0.8 |
|                              | ベネッセ2004 | 7.8  | 10.8 | 36.7      | 20.6 | 24.1 | —   |

表18 学校へ行くことは楽しいですか

(%)

|           | とても楽しい | いくらか楽しい | どちらでもない | あまり楽しくない | ぜんぜん楽しくない | 無答  |
|-----------|--------|---------|---------|----------|-----------|-----|
| 小4 男      | 38.2   | 39.1    | 13.4    | 5.9      | 1.9       | 1.6 |
| 女         | 38.8   | 39.1    | 14.1    | 4.5      | 3.2       | 0.3 |
| 合計        | 38.5   | 39.1    | 13.7    | 5.2      | 2.5       | 0.9 |
| 小6 男      | 32.5   | 35.4    | 18.2    | 8.3      | 4.3       | 1.3 |
| 女         | 41.0   | 38.3    | 13.6    | 4.4      | 1.4       | 1.4 |
| 合計        | 36.7   | 36.9    | 15.9    | 6.3      | 2.8       | 1.3 |
| 中2 男      | 26.9   | 40.3    | 14.9    | 8.4      | 5.8       | 3.6 |
| 女         | 35.9   | 32.6    | 16.3    | 8.0      | 6.6       | 0.6 |
| 合計        | 31.4   | 36.5    | 15.6    | 8.2      | 6.2       | 2.1 |
| ベネッセ2001  | 14.5   | 55.6    |         | 23.8     | 6.0       | —   |
| ベネッセ2003a | 22.8   | 61.9    |         | 8.4      | 6.8       | —   |
| ベネッセ2003b | 22.0   | 40.6    | 25.2    | 9.3      | 2.9       | —   |

表18では、学校に行くことが楽しいかどうかをたずねた結果を示す。中学校2年生についてはベネッセ教育研究所(2001)、ベネッセ未来教育センター(2003a, 2003b)のデータも比較のために掲載した。

犬山市では、総じて楽しいという方向の回答が多数を占める。小学生では楽しくないという方向の回答は10%以下という結果であった。一方、中学校2年生ではそれが15%近くに上昇している。ベネッセ教育研究所、ベネッセ未来教育センターとの比較では、犬山市の生徒が「とても楽しい」と答える割合が大きい傾向が見られる。また楽しくないという方向の回答では比較的似た結果が示された。

表19は、「学校に行く気がしない」ことがあるかどうかをたずねた結果である。

中学校2年生については、ベネッセ未来教育センター(2003b)のデータもつけた。小学生では11%程度、中学生では14%程度の者が「よくある」と回答した。「ときどきある」には55%前後の児童生徒が回答をしている。「全くない」へは小学生は35%程度、中学校2年生は30%程度が選

表 19 学校へ行く気がしないことがありますか (%)

|           | よくある | ときどきある | まったくない | 無 答 |
|-----------|------|--------|--------|-----|
| 小4 男      | 13.7 | 50.6   | 35.4   | 0.3 |
| 女         | 8.3  | 56.1   | 35.6   | 0.0 |
| 合計        | 11.0 | 53.3   | 35.5   | 0.2 |
| 小6 男      | 12.9 | 50.3   | 35.4   | 1.3 |
| 女         | 9.5  | 57.6   | 32.2   | 0.7 |
| 合計        | 11.2 | 53.9   | 33.8   | 1.0 |
| 中2 男      | 13.0 | 52.9   | 33.8   | 0.3 |
| 女         | 15.3 | 59.1   | 24.9   | 0.6 |
| 合計        | 14.1 | 56.0   | 29.4   | 0.5 |
| ベネッセ2003b | 15.2 | 63.3   | 21.5   | —   |

んだ。ベネッセ未来教育センターのデータとの比較では、犬山市の生徒の方が通学への意欲は高い傾向を見ることができる。

表 20 は、勉強に関する自信を、IEA の調査データと比較したものである。これは「算数・数学（理科）の成績はいつもよい」「私はクラスの友だちより算数・数学（理科）を難しいと感じる（逆転項目）」「算数・数学（理科）は私の得意な科目ではない（逆転項目）」「算数・数学（理科）で学んだことはすぐにわかる」の 4 項目の組み合わせで、回答者を自信の「高いレベル」（4 項目すべてで自信ある回答をした者）、「低いレベル」（4 項目すべてで自信のない回答をした者）、「中間層」（それ以外の者）に分けて集計したものである。

小学校 4 年生の算数では、犬山市の子どもは日本のデータを越えて、ほぼ世界平均に近い数値を示した。4 年生は理科についても同様であり、「低いレベル」は 3%にとどまっている。一方、犬山市の中学校 2 年生は、小学校ほどの自信の高さを見ることはできなかった。数学は「高いレベル」の割合は、日本のデータよりやや多いものの、世界の平均よりは低い。ただ、犬山市は中間層が多く、「低いレベル」の生徒は日本のデータより明らかに少ない結果であった。理科の場合は、数学よりもさらに日本のデータとの違いが小さくなっているが、「低いレベル」が少ない点は望ましい

表20 勉強に対する自信－IEA2003年データとの比較 (%)

|       |    |       | 高いレベル | 中間層  | 低いレベル |
|-------|----|-------|-------|------|-------|
| 小学校4年 | 算数 | 犬山合計  | 53.0  | 38.4 | 8.6   |
|       |    | 日本の%  | 39    | 40   | 21    |
|       |    | 国際平均値 | 55    | 33   | 11    |
|       | 理科 | 犬山合計  | 57.6  | 39.3 | 3.0   |
|       |    | 日本の%  | 46    | 41   | 13    |
|       |    | 国際平均値 | 59    | 32   | 9     |
| 中学校2年 | 数学 | 犬山合計  | 20.2  | 54.8 | 25.0  |
|       |    | 日本の%  | 17    | 38   | 45    |
|       |    | 国際平均値 | 40    | 38   | 22    |
|       | 理科 | 犬山合計  | 20.5  | 57.7 | 21.8  |
|       |    | 日本の%  | 20    | 46   | 34    |
|       |    | 国際平均値 | 48    | 38   | 13    |

傾向として認められよう。

表21～表24は、これまで犬山市では調査してこなかった学習塾への通塾実態調査である。比較のためにベネッセ未来教育センター（2003b, 2004）の調査で対応する項目のデータを付した。

表21には通塾率を示した。

小学生は通塾者がやや少なく、中学生になると逆転する結果が見られる。中学校2年生はベネッセ未来教育センターデータと類似した結果であった。

表22は、1週間あたりの通塾日数をたずねた結果である。

小学校4年生では1～2日が30%台、小学校6年生では2日に50%台の児童が回答をした。中学校2年生も2日への回答が多いが、3日への回答も20%後半に移行している。学年が進むにしたがって通塾日数が増す傾向が見られる。中学校2年生は、ベネッセ未来教育センターのデータと類似した結果であった。

表23は、1回の通塾時に学習する時間をたずねた結果である。

小学校4年生では1時間程度への回答が最も多いが、中学校2年生にいたっ

て2~2.5時間程度へと時間数が増していく。なお、3時間以上への回答は6年生でむしろやや多い結果が見られる。

表24では、学習塾のための予習、復習についてたずねた結果を示す。これによれば、相当数の児童生徒が学習塾のための予習、復習をしていることが分かる。学年が進むにしたがってその割合はやや減少するが、小学校4年生で30%、中学校2年生で20%程度の者がそれを「よくする」と回

表21 あなたは、学習塾へ行っていますか (%)

|           | 行っている | 行っていない | 無 答 |
|-----------|-------|--------|-----|
| 小4 男      | 41.6  | 57.8   | 0.6 |
| 女         | 45.5  | 54.5   | 0.0 |
| 合計        | 43.5  | 56.2   | 0.3 |
| 小6 男      | 50.0  | 50.0   | 0.0 |
| 女         | 43.4  | 56.3   | 0.3 |
| 合計        | 46.7  | 53.1   | 0.2 |
| 中2 男      | 54.2  | 45.8   | 0.0 |
| 女         | 55.1  | 44.9   | 0.0 |
| 合計        | 54.7  | 45.3   | 0.0 |
| ベネッセ2003b | 55.7  | 44.3   | —   |

表22 学習塾に行っている人は、1週間に何回くらい行きますか (%)

|           | 1日   | 2日   | 3日   | 4日以上 | 無 答 |
|-----------|------|------|------|------|-----|
| 小4 男      | 32.1 | 30.6 | 17.2 | 19.4 | 0.7 |
| 女         | 32.4 | 37.3 | 9.2  | 16.2 | 0.7 |
| 合計        | 32.2 | 34.1 | 13.0 | 17.8 | 0.7 |
| 小6 男      | 19.9 | 57.0 | 11.5 | 11.3 | 0.7 |
| 女         | 15.6 | 57.8 | 15.6 | 10.9 | 0.0 |
| 合計        | 17.9 | 57.3 | 13.3 | 11.1 | 0.4 |
| 中2 男      | 8.4  | 57.5 | 26.3 | 7.2  | 0.6 |
| 女         | 16.3 | 51.2 | 29.5 | 3.0  | 0.0 |
| 合計        | 12.3 | 54.3 | 27.9 | 5.1  | 0.3 |
| ベネッセ2003b | 13.8 | 43.8 | 25.7 | 16.7 | —   |

表23 その学習塾では1回にどのくらい勉強しますか (%)

|      | 30分<br>くらい | 1時間<br>くらい | 1時間30<br>分くらい | 2時間<br>くらい | 2時間30<br>分くらい | 3時間<br>以上 | 無 答 |
|------|------------|------------|---------------|------------|---------------|-----------|-----|
| 小4 男 | 7.5        | 45.5       | 23.1          | 11.2       | 4.5           | 6.0       | 2.2 |
| 女    | 4.9        | 39.4       | 15.5          | 21.8       | 9.2           | 7.7       | 1.4 |
| 合計   | 6.2        | 42.4       | 19.2          | 16.7       | 6.9           | 6.9       | 1.8 |
| 小6 男 | 4.0        | 30.5       | 26.5          | 26.5       | 5.3           | 7.3       | 0.0 |
| 女    | 2.3        | 16.4       | 28.9          | 30.5       | 8.6           | 13.3      | 0.0 |
| 合計   | 3.2        | 24.0       | 27.6          | 28.3       | 6.8           | 10.0      | 0.0 |
| 中2 男 | 1.8        | 3.6        | 14.4          | 31.1       | 43.7          | 5.4       | 0.0 |
| 女    | 3.0        | 4.8        | 21.7          | 31.9       | 31.3          | 6.6       | 0.6 |
| 合計   | 2.4        | 4.2        | 18.0          | 31.5       | 37.5          | 6.0       | 0.3 |

表24 学習塾のために予習・復習をしていますか (%)

|          | よくする | ときどきする | しない  | 無 答 |
|----------|------|--------|------|-----|
| 小4 男     | 26.9 | 42.5   | 28.4 | 2.2 |
| 女        | 35.2 | 35.2   | 29.6 | 0.0 |
| 合計       | 31.2 | 38.8   | 29.0 | 1.1 |
| 小6 男     | 21.2 | 41.0   | 37.7 | 0.0 |
| 女        | 30.5 | 36.7   | 32.8 | 0.0 |
| 合計       | 25.4 | 39.1   | 35.4 | 0.0 |
| 中2 男     | 23.3 | 42.5   | 31.7 | 2.4 |
| 女        | 18.1 | 40.4   | 39.8 | 1.8 |
| 合計       | 20.7 | 41.1   | 35.7 | 2.1 |
| ベネッセ2004 | 5.8  | 13.8   | 80.4 | —   |

答しているのである。ベネッセ未来教育センターのデータでは8割が「しない」と回答しており、犬山市の塾での学習の形がそれらのデータサンプルの地域とは異なることが示されたのである。

## ま と め

この調査により、犬山市の児童生徒の学習習慣、学習態度について、いくつかの側面で実態が明らかとなった。それにより、2001年度から続けられてきている、学び合いを軸とした授業改善の成果と課題につながる諸知見を見出すことができた。

まず、放課後の生活時間の実態を検討すると、犬山市の児童生徒の放課後の活動の活性度はやや低い傾向が認められた。テレビやビデオを見る、インターネットをするといった室内の活動の時間がやや多い傾向が見られた。友だちとの交わりやスポーツなど、対人的交流機会を増すような行動への配慮が課題となるようである。

次に、教科の楽しさや好みに関して、いくつかの特徴と課題を見出すことができた。犬山市で重点を置いてきたいくつかの教科での少人数授業、TT が、児童生徒の教科の楽しさや好みとかかわりを持つかを、他教科との比較という観点で検討すると、小学生ではその傾向を認めることが可能であったが、中学校では認めることができなかった。ただ、ほとんどの教科への好意度は中間値を越えており、特別に教員配置をした教科以外でも授業改善の努力が行われていることによる結果だという側面もあると思われる。日本の平均との比較では、算数・数学は楽しいとする者が犬山市で多いが、理科ではその効果は未だ不十分であった。

なお、教科の楽しさや好みに関して、性差が明らかな教科が多くあったこと、教科によっては小学生のうちからそれが顕わになってきているものがあることが分かった。とくに算数・数学、理科などはこの点に留意した授業づくりをめざすべきであろう。

授業に臨む態度や家での勉強方法、家での勉強時間など、学習への積極性にかかわる諸項目では、ベネッセ調査による関東地方の児童生徒と比較して、犬山市の児童生徒は全般的により望ましい方向の回答をしていた。特に自宅での勉強時間については、犬山市の児童生徒がより長い時間を費やしている実態が示された。自発的な学習態度を背景にうかがうことがで

きよう。

さて、この調査で最も注目すべきは、「勉強に対する自信」をまとめた表20の結果である。これはIEA調査公表の折、日本の児童生徒が諸外国の児童生徒と比較して低いという点で問題にされた領域の質問である。算数・数学で、また小学校理科で、犬山市の児童生徒は、日本の平均と比較して勉強に対する自信がより強いことが示されたのである。先に言及した性差の問題を克服すれば、よりよい数値がさらに期待できよう。

授業改善の試みは一朝一夕では明らかな成果をもたらすことはない。しかし、児童生徒の変化については、「問題」の項で掲げた諸調査で望ましい方向の変化が報告され、また、学力面でも一定の伸びがあること（犬山市教育委員会 2006）や、学力格差の縮小が見られること（荻谷、他 2006）が報告されている。この調査でも、学習習慣や学習態度といった、幅広い意味の、そして重要な意義を持つ学力面での望ましい変化を伺うことができる資料を得ることができた。犬山市の試みが前進していることを裏付ける資料の一つになったといえよう。

（受理日 2006年11月8日）

## 文 献

- ベネッセ教育研究所 2001 居場所としての学校（モノグラフ中学生の世界69）  
ベネッセコーポレーション
- ベネッセ教育研究所 2002 子どもの放課後（モノグラフ小学生ナウ21-3）ベ  
ネッセコーポレーション
- ベネッセ未来教育センター 2003a 「完全週5日制」と中学生（モノグラフ中学  
生の世界74）ベネッセコーポレーション
- ベネッセ未来教育センター 2003b 東京の中学生、ソウルの中学生（モノグラ  
フ中学生の世界75）ベネッセコーポレーション
- ベネッセ未来教育センター 2004 勉強する中学生・勉強しない中学生（モノグラ  
フ中学生の世界78）ベネッセコーポレーション
- 犬山市教育委員会（編）2005 自ら学ぶ力を育む教育文化の創造 黎明書房
- 犬山市教育委員会 2006 平成18年度シンポジウム「教育のまち」討論資料  
犬山市教育委員会
- 荻谷剛彦・安藤理・内田良・清水睦美・藤田武志・堀健志・松田洋介・山田哲也



- 2006 教育改革を評価する—犬山市教育委員会の挑戦 (岩波ブックレット 685)  
岩波書店
- 国立教育政策研究所 2004 国際教育到達度評価学会 (IEA) 国際数学・理科  
教育動向調査の 2003 年調査 (TIMESS2003) 国際調査結果報告 (速報)  
<http://www.nier.go.jp/kiso/timss/2003/top.htm>
- 仲律子・杉江修治 2001 少人数授業, ティームティーチングの実施に関する教  
師の感想調査 中京大学教養論叢 42-3, 123-135
- 仲律子・杉江修治 2002a 少人数授業, ティームティーチングの実施に関する  
教師の感想調査 (2) 中京大学教養論叢, 42-4, 145-172.
- 仲律子・杉江修治 2002b 少人数授業, ティームティーチングによる授業改善  
の実態—子ども, 教師, 保護者への調査から 中京大学教養論叢, 43-4, 153-  
179.
- 仲律子・谷口篤・杉江修治 2004 犬山市における少人数授業, ティームティー  
チング導入の教育的効果に関する 2003 年度調査: 自由記述資料 教育心理学  
研究資料 (中京大学 杉江修治研究室) 12.
- 西口利文・杉江修治 2005 学びの共同体をめざす犬山市の教育改革と保護者の  
意識実態 中京大学教養論叢, 46-1, 43-58.
- 杉江修治 (編) 2003 子どもの学びを育てる少人数授業—犬山市の提案 明治  
図書
- 杉江修治 (編著) 2005 犬山の少人数授業—協同原理を生かした実践の事例  
一粒社
- 谷口篤・杉江修治・仲律子 2004a 犬山市における少人数授業, ティームティー  
チング導入の教育的効果に関する 2002 年度調査 教育心理学研究資料 (中京  
大学 杉江修治研究室) 10.
- 谷口篤・杉江修治・仲律子 2004b 犬山市における少人数授業, ティームティー  
チング導入の教育的効果に関する 2003 年度調査 教育心理学研究資料 (中京  
大学 杉江修治研究室) 11.
- 谷口篤・杉江修治・仲律子 2004c 犬山市の教育改革に関する保護者の意識と  
評価—改革 2 年目と 3 年目の資料からの検討 中京大学教養論叢, 45-3, 135-  
152.

## &lt;資料1：小学生用質問紙&gt;

## 児童質問紙

注 意 あなたの学校や家でのことを教えてください。秘密は守りますので安心して答えてください。

質問のほとんどは、例題のようにいくつかの番号の中からあてはまる番号をえらんで○で囲むようにしてください。

- 1 あなたは、何年生ですか。  
小学校 ( ) 年生
- 2 男女のどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。  
ア 女 イ 男
- 3 学校のある日に、家に帰ってから1日に、次のことをどれくらいしますか。
  - (1) 宿題をする  
ア しない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (2) テレビやビデオを見る  
ア 見ない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (3) コンピュータゲームで遊ぶ  
ア 遊ばない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (4) 友だちと学校の外で、遊んだりおしゃべりしたりする  
ア しない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (5) 家の仕事(手伝い)をする  
ア しない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (6) スポーツをして遊ぶ  
ア しない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (7) 自分の好きな本を読む  
ア 読まない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない  
エ 2時間以上、4時間より少ない    オ 4時間以上
  - (8) インターネットを使う  
ア 使わない    イ 1時間より少ない    ウ 1時間以上、2時間より少ない

エ 2時間以上，4時間より少ない      オ 4時間以上

4 いろいろな教科の勉強についてどう思っていますか。

(1) 国語の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(2) 社会の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(3) 算数の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(4) 理科の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(5) 音楽の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(6) 図画工作の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(7) 体育の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(8) 家庭科の勉強は楽しい

ア 強くそう思う    イ そう思う    ウ そう思わない    エ まったくそう思わない

(9) 好きな教科を順に3つ書いてください。

1番（            ）    2番（            ）    3番（            ）

5 あなたは、いつも家でどのように勉強していますか

(1) 授業の予習・復習をしている

ア よくする      イ ときどきする      ウ しない

(2) 漢字や計算問題をしている

ア よくする      イ ときどきする      ウ しない

(3) 勉強したところを家の人にみてもらおう

ア よくする      イ ときどきする      ウ しない

(4) きょう、家に帰ってどれくらい勉強しましたか。

ア まったくしなかった    イ 30分くらいした    ウ 1時間くらいした

エ 2時間くらいした    オ 3時間くらいした    カ 4時間以上した

6 あなたの気持ちについてたずねます。

(1) 学校へ行くことは楽しいですか。

ア とても楽しい    イ いくらか楽しい    ウ どちらでもない

エ あまり楽しくない    オ ぜんぜん楽しくない

(2) 学校へ行く気がしないことがありますか。

ア よくある      イ ときどきある    ウ まったくない

(3) 学校の授業は楽しい

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(4) 算数は私の得意な教科ではない

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(5) 算数で習うことは、すぐに分かる

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(6) 私は、クラスの友だちよりも算数をむずかしいと感じる

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(7) 理科は私の得意な教科ではない

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(8) 理科で習うことは、すぐに分かる

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

(9) 私は、クラスの友だちよりも理科をむずかしいと感じる

ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない

7 あなたの算数や理科のせいせきは、いつもどのくらいですか。

(1) 算数について

ア せいせきは、たいへん良い イ せいせきは、良い ウ せいせきは、悪い

エ せいせきは、たいへん悪い

(2) 理科について

ア せいせきは、たいへん良い イ せいせきは、良い ウ せいせきは、悪い

エ せいせきは、たいへん悪い

8 あなたは、学習塾へ行っていますか。

ア 行っている イ 行っていない

9 学習塾に行っている人だけに聞きます。

(1) 1週間に何回くらい行きますか。

ア 1日 イ 2日 ウ 3日 エ 4日以上

(2) 学習塾では1回にどのくらい勉強しますか。

ア 30分くらい イ 1時間くらい ウ 1時間分くらい

エ 2時間くらい オ 2時間30分くらい カ 3時間以上

(3) 学習塾のための予習・復習をしている。

ア よくする イ ときどきする ウ しない

## &lt;資料2: 中学生用質問紙&gt;

## 生徒質問紙

注 意 あなたの学校や家でのことを教えてください。秘密は守りますので安心して答えてください。

質問のほとんどは、例題のようにいくつかの番号の中からあてはまる番号をえらんで○で囲むようにしてください。

例題：あなたは、運動が好きですか。

ア はい      イ いいえ

- 1 あなたは、何年生ですか。  
中学校 (    ) 年生
- 2 男女のどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。  
ア 女    イ 男
- 3 学校のある日に、家に帰ってから1日に、次のことをどれくらいしますか
  - (1) 宿題をする
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア しない             | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (2) テレビやビデオを見る
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア 見ない             | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (3) コンピュータゲームで遊ぶ
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア 遊ばない            | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (4) 友だちと学校の外で、遊んだりおしゃべりしたりする
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア しない             | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (5) 家の仕事(手伝い)をする
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア しない             | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (6) スポーツをして遊ぶ
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア しない             | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |
  - (7) 自分の好きな本を読む
 

|                   |            |                   |
|-------------------|------------|-------------------|
| ア 読まない            | イ 1時間より少ない | ウ 1時間以上, 2時間より少ない |
| エ 2時間以上, 4時間より少ない |            | オ 4時間以上           |

(8) インターネットを使う

- ア 使わない      イ 1時間より少ない      ウ 1時間以上, 2時間より少ない  
エ 2時間以上, 4時間より少ない      オ 4時間以上

4 いろいろな教科の勉強についてどう思っていますか。

(1) 国語の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(2) 社会の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(3) 数学の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(4) 理科の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(5) 英語の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(6) 音楽の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(7) 美術の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(8) 保健体育の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(9) 技術家庭の勉強は楽しい

- ア 強くそう思う      イ そう思う      ウ そう思わない  
エ まったくそう思わない

(10) 好きな教科を順に3つ書いてください。

- 1番 (            )      2番 (            )      3番 (            )

5 あなたは、授業をどのように受けていますか。

(1) 大事なところに蛍光ペンなどでマークをつける

- ア よくする      イ ときどきする      ウ しない

- (2) 先生の話をよく聞く  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (3) どこがテストに出そうか, 注意して聞く  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (4) プリントや資料はファイルに整理しておく  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (5) 黒板に書かれたことだけでなく, 先生の説明もノートにとる  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (6) グループ学習では, 進行役やまとめ役をやる  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- 6 あなたは, いつも家でどのように勉強していますか
- (1) 授業の予習・復習をしている  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (2) 漢字や計算問題をしている  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (3) 勉強したところを家の人にみてもらう  
 ア よくする            イ ときどきする            ウ しない
- (4) きょう, 家に帰ってどれくらい勉強しましたか。  
 ア まったくしなかった    イ 30分くらいした    ウ 1時間くらいした  
 エ 2時間くらいした    オ 3時間くらいした    カ 4時間以上した
- 7 次のことについて, あなたの考えに近いものに○をつけてください。
- (1) 授業では勉強のやり方をもっと教えるべきだ  
 ア 賛成            イ やや賛成            ウ どちらとも言えない  
 エ やや反対            オ 反対
- (2) 勉強する子としない子の差が広がるのは仕方ない  
 ア 賛成            イ やや賛成            ウ どちらとも言えない  
 エ やや反対            オ 反対
- (3) 塾に通うことは必要だ  
 ア 賛成            イ やや賛成            ウ どちらとも言えない  
 エ やや反対            オ 反対
- (4) 学力を上げるため, 学校できびしく指導してほしい  
 ア 賛成            イ やや賛成            ウ どちらとも言えない  
 エ やや反対            オ 反対
- (5) 今勉強している内容のレベルを上げてほしい  
 ア 賛成            イ やや賛成            ウ どちらとも言えない  
 エ やや反対            オ 反対

- 8 あなたの気持ちについてたずねます。
- (1) 学校へ行くことは楽しい  
 ア とても楽しい イ いくらか楽しい ウ どちらでもない  
 エ あまり楽しくない オ ぜんぜん楽しくない
- (2) 学校へ行く気がしないことがある  
 ア よくある イ ときどきある ウ まったくない
- (3) 学校の授業は楽しい  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (4) 数学は私の得意な教科ではない  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (5) 数学で習うことは、すぐに分かる  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (6) 私は、クラスの友だちよりも数学を難しいと感じる  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (7) 理科は私の得意な教科ではない  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (8) 理科で習うことは、すぐに分かる  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- (9) 私は、クラスの友達よりも理科を難しいと感じる  
 ア 強くそう思う イ そう思う ウ そう思わない エ まったくそう思わない
- 9 あなたの数学や理科の成績は、いつもどのくらいですか。
- (1) 数学について  
 ア 成績は、たいへん良い イ 成績は、良い ウ 成績は、悪い  
 エ 成績は、たいへん悪い
- (2) 理科について  
 ア 成績は、たいへん良い イ 成績は、良い ウ 成績は、悪い  
 エ 成績は、たいへん悪い
- 10 あなたは、学習塾へ行っていますか。  
 ア 行っている イ 行っていない
- 11 学習塾に行っている人だけに聞きます。
- (1) 1週間に何回くらい行きますか。  
 ア 1日 イ 2日 ウ 3日 エ 4日以上
- (2) 学習塾では1回にどのくらい勉強しますか  
 ア 30分くらい イ 1時間くらい ウ 1時間分くらい  
 エ 2時間くらい オ 2時間30分くらい カ 3時間以上
- (3) 学習塾のために予習・復習をしていますか  
 ア よくする イ ときどきする ウ しない